

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公開番号】特開2005-146997(P2005-146997A)

【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2005-022

【出願番号】特願2003-386130(P2003-386130)

【国際特許分類】

F 0 4 C 15/06 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 15/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月15日(2008.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エンジンによる駆動によって複数のポンプ室が連続的に容積を増減変化させ、吸入ポートで吸い込んだオイルを加圧して吐出ポートから吐出するオイルポンプにおいて、

吐出ポートに導通するオイルチャンバを、吐出ポートに対して隔壁を隔てて設け、その隔壁をオイルの脈圧によって変形可能としたことを特徴とするオイルポンプ。

【請求項2】

エンジンによる駆動によって複数のポンプ室が連続的に容積を増減変化させ、吸入ポートで吸い込んだオイルを加圧して吐出ポートから吐出するオイルポンプであって、吐出ポート形成部を含むポンプハウジングがアルミニウム合金によって形成された複数のハウジング構成ブロックを相互に結合して構成されたものにおいて、

吐出ポートに導通するオイルチャンバを、吐出ポートに対して隔壁を隔てて設け、前記オイルチャンバと吐出ポートを複数のハウジング構成ブロックに跨らせて形成し、前記隔壁をハウジング構成ブロック相互の合わせ面に向かって先細り状になるように形成したことを特徴とするオイルポンプ。

【請求項3】

前記オイルチャンバを、その長手方向が吐出ポートの延出方向に沿うように形成したことを特徴とする請求項1または2に記載のオイルポンプ。

【請求項4】

クランクシャフトの2倍の速度で回転して、エンジンの二次振動を打ち消すバランスシャフトによって駆動され、複数のポンプ室が連続的に容積を変化させ、吸入ポートで吸い込んだオイルを加圧して吐出ポートから吐出するトロコイド形のオイルポンプであって、

前記吐出ポートの形成部を含むポンプハウジングを、アルミニウム合金によって形成された複数のハウジング構成ブロックを相互に結合して構成すると共に、前記吐出ポートに導通するオイルチャンバを、吐出ポートに対して隔壁を隔てて設け、前記オイルチャンバと吐出ポートを複数のハウジング構成ブロックに跨って形成し、前記隔壁をハウジング構成ブロック相互の合わせ面に向かって先細り状になるように形成したことを特徴とするオイルポンプ。